

市町村名	竹富町						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	干立地区防災機能改善事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(3)-エ 情報通信基盤の整備		
担当部課名	防災危機管理課	事業実施 年度	平成 29	～ 令和 1	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所 III-6	
事業内容	西表島干立地区の金座山に津波避難施設を整備し、津波等の自然災害に対する防災力の向上を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	○年度	合計	
	A. 予算現額	9,828	14,796	118,965		143,589	
	B. 執行済額	9,828	14,796	118,965		143,589	
	うち 交付金充当額	7,862	11,836	80,877		100,575	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	
執行状況の説明	当初の予算通り、適切に執行できたと考える。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			29年度	30年度	R1年度	○年度	○年度
	環境モニタリング調査業務実施 工事基本設計業務	目標	業務実施				
		実績	業務実施				
	避難路調査実施設計	目標		業務実施			
		実績		業務実施			
避難路整備工事 工事施工監理	目標			業務実施 工事完了			
	実績			業務実施 工事完了			
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			29年度	30年度	R1年度	○年度	○年度
	津波避難施設(避難路)の整備完了	目標	環境モニタリング調査、 工事基本設計、測量調査	避難路調査実施設計	工事施工監理、避難路 整備完了		
		実績	環境モニタリング調査、 工事基本設計、測量調査	避難路調査実施設計	工事施工監理、避難路 整備完了		
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み						
事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R2年度	3年度	○年度	○年度	2年度 目標/発現年度
	事業完了後の成果目標	整備した避難路を活用した避難訓練(2回以上/年)を実施する。	目標	2回		
		実績	未実施			
避難訓練参加者にアンケート調査を実施し、安心・安全に避難できるか(80%)を含め検証する。		目標	80%			
		実績	未実施			
状況説明	<p>【R2年度】 ・避難訓練(2回以上/年)を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により避難訓練が困難であった為、未実施。避難訓練が未実施だった為、アンケートによる検証も未実施なので、次年度以降に検証を行う。</p> <p>【 年度】 .</p> <p>【 年度】 .</p>					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
<p>【R2年度】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により避難路を活用した避難訓練は未実施であるが、適正利用に向けて定期的な清掃を実施。</p> <p>【 年度】 .</p> <p>【 年度】 .</p>			<p>【R2年度】 ・当該事業において避難経路案内図を設置したが、観光滞在者等地域住民外の方にも分かり易く、迅速に避難できるよう自主防災組織において避難経路案内図の増設の検討</p> <p>【 年度】 .</p> <p>【 年度】 .</p>			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
<p>【R2年度】 ・金座山周辺の自然環境を継続的にモニタリングし、避難路を適切に維持管理していく。 ・災害時に迅速に避難できるよう避難訓練を実施するとともに、参加者にアンケート調査を実施し訓練の検証を行う。 ・自主防災組織を立上げ地域住民の災害への意識を高めるとともに、地域住民及び観光滞在者を含めた安心・安全に避難できる体制づくりの検討。</p> <p>【 年度】 .</p> <p>【 年度】 .</p>						

市町村名	竹富町					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】						
事業名	登録有形文化財(建造物)なごみの塔周辺整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-5-(ア) 文化産業の戦力的な創出育成	
担当部課名	竹富町教育委員会社会文化課	事業実施 年度	令和 元年	～	令和 元年	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所
事業内容	登録文化財を活用した観光を推進するために、危険建造物となっている登録有形文化財(建造物)なごみの塔の修理工事を行う。					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()					
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		R1年度	○年度	○年度	○年度	合計
	A. 予算現額	16,280				16,280
	B. 執行済額	16,280				16,280
	うち 交付金充当額	12,310				12,310
	執行率(%) (B/A)	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0%
執行状況の説明	登録有形文化財(建造物)なごみの塔の修理工事及び石積みの崩落防止工事を含む周辺整備事業を当初予算の計画通りに執行した。					
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
			R1年度	○年度	○年度	○年度
	登録有形文化財(建造物)なごみの塔修理工事の実施	目標	実施			
		実績	実施			
		目標				
		実績				
	目標					
	実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
			R1年度	○年度	○年度	○年度
	登録有形文化財(建造物)なごみの塔修理工事の完了	目標	塔・土台基礎石積みの工事完了			
		実績	塔・土台基礎石積みの工事完了			
		目標				
		実績				
	目標					
	実績					

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R2年度	R3年度	○年度	○年度	○年度 目標/発現年度
なごみの塔の限定公開イベント(年12回)の際に等に昇降する延べ人数 1560人/年	目標	1560人	1560人			
	実績	未実施				
登録文化財を活用した観光を推進する上で、なごみの塔の修理工事により危険が除去されたと感じる住民の割合	目標		80%			
	実績					

事業完了後の成果目標	状況説明	<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塔への昇降イベントを予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からイベントの自粛が余儀なくされ、目標を達成することができなかった。 <p>【 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・
------------	------	---

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元公民館と日常管理や、活用する方法について意見交換を行った。塔の昇降については新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から実施することができなかった。 <p>【 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 	<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塔への昇降は文化財を活用した観光の一つであるが、観覧者の安全管理の為、公民館の付き添いが必要であることから、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からイベントの開催が難しい。そのため、来島した観光客には昇降せず、階段の手前から塔の歴史を感じながら安全に眺望を楽しんでいただく。さらに、修理により塔の見学が安全になっているのか、住民の目線で確認する必要がある。 <p>【 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【R2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財の修理が終了したことを広報等で周知するとともに、文化的価値を享受できる安全な公開の方法を検討する。具体的には、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントの開催は難しいが、階段手前の踊り場部分にある「なごみの塔」の由来が書かれた石碑を通し、従来の放送施設としての使用方法を学ぶ他、コンクリートの剥離や石積みの崩落を気にせず、高台からの眺望を楽しんでいただく等、個人で直接安全に体験ができる身近な文化財スポットとしての活用が見込まれる。また、地元で有意義な活用ができるよう日常管理するほか、修理により倒壊や崩落といった危険性が除去されたかについて、住民の意見を聴きたいと考えている。 <p>【 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <p>【 年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・
